

報 告

東南アジア研究センター管理委員会名簿

(昭和39年9月20日現在)

委員長	農学部	長	小林	章
副委員長	人文科学研究	所長	森	鹿三
委員	文学部	長	井上	智勇
〃	教育学部	長	重松	俊明
〃	法学部	長	中田	淳一
〃	経済学部	長	堀江	英一
〃	理学部	長	速水	頌一郎
〃	医学部	長	堀井	五十雄
〃	薬学部	教授	木村	康一
〃	工学部	長	藤本	武助
〃	教養部	長	柴田	実
〃	研究センター	所長	岩村	忍
幹事	庶務部	長	住友	眩
〃	経理部	長	西間	木久郎

東南アジア研究センター管理委員会

開催日および議題

39年9月15日

1. 昭和39年度自然科学部門研究計画について
2. マラヤ稲作シンポジウムについて
3. 他大学との研究協力について
4. その他

東南アジア研究センター常任委員会名簿

(昭和39年9月20日現在)

所長	人文科学研究	所教授	岩村	忍
常任委員	文学部	教授	泉井	久之助
〃	文学部	教授	織田	武雄 (社会科学研究部門主任)
〃	教育学部	教授	相良	惟一 (総務部副主任)
〃	法学部	教授	猪木	正道 (社会科学研究部門副主任)
〃	経済学部	教授	堀江	保蔵 (総務部主任)
〃	理学部	教授	芦田	讓治
〃	医学部	教授	西尾	雅七

〃	薬学部	教授	木村	康一 (自然科学研究部門主任)
〃	工学部	教授	滝本	清
〃	農学部	教授	四手井	綱英 (自然科学研究部門副主任)
〃	農学部	教授	川口	桂三郎
〃	教養部	長	柴田	実
幹事	文学部	助教授	棚瀬	襄爾
〃	農学部	助教授	本岡	武
〃	医学部	教授	西占	貢
〃	教養部	教授	吉井	良三

東南アジア研究センター常任委員会

開催日および議題

39年7月1日

東南アジア研究センター後援会の募金について

39年7月16日

1. インディアナ大学アジア研究所との交換計画について
2. 東南アジア研究センター後援会の募金について
3. 自然科学部門の研究計画について
4. 長崎大学東南アジア研究所との研究協力について

39年7月29日

1. 昭和39年度自然科学部門調査計画決定について
2. センター後援会の募金について

39年9月1日

1. 昭和39年度自然科学部門研究計画について
2. マラヤ稲作シンポジウムについて
3. 他大学との研究協力について
4. 研究者養成計画(留学生募集)について
5. 運営協議会幹事について
6. 研究担当教官について
7. 学外者の研究参加について
8. その他

東南アジア研究センター運営協議会

開催日および議題

39年6月20日

1. 昭和39・40年度現地研究計画の検討について
2. 研究担当教官について
3. 学外者の研究参加について

39年9月12日

(9月1日の常任委員会議題と同じ)

東南アジア研究センター後援会理事会開催日

第1回	39年4月24日
第2回	〃 5月25日
第3回	〃 8月4日
第4回	〃 9月8日

マラヤ稲作シンポジウム 趣 意

マラヤ稲作に対し、我が国は昭和33年以来21名の専門家を派遣して技術協力を行ってきた。その結果、たとえば育種部門では新品種マリンジヤ(MALINJA)の育成に成功し、その他の部門においてもいちおうの成果をあげており、マラヤ稲作改良はわが国の東南アジア技術協力のうち、もっとも組織的に行なわれた例といえることができる。

農林省および海外技術協力事業団はマラヤに対するこの技術協力の成果をとりまとめることを検討していたところ、京都大学東南アジア研究センターにおいて昨年度より東南アジアの現地調査を開始し、その一環として本年度より、マラヤの総合的研究を実施することになった。

よって今回農林省、京都大学東南アジア研究センター、海外技術協力事業団の共催により、マラヤ稲作改良に従事された専門家の参集を願い、その成果についてシンポジウムを催すことは今後の農業技術協力の推進のために有益であると考えられる。

要 領

1. 主 催 農林省、京都大学東南アジア研究センター、海外技術協力事業団
2. 期 日 1964年(昭和39年)9月30日(水)～10月2日(金)
3. 場 所 京都比叡山国際観光ホテル
4. 日 程 (省 略)
5. 参加者 50人

発表者 16人(マラヤ技術協力派遣専門家 15人ほか1名)、熱帯稲作に関する学識経験者 34人(農林省11人、文部省関係その他11人、京大8人、事業団4人)

6. 事務局 11人(農林省4人、研究センター4人、事業団3人)
7. テーマ 「マラヤ稲作について」
8. シンポジウムの議長、副議長
議 長 奥田 東(京都大学総長)
副議長 馬場 赴(農 技 研)
〃 長谷川 浩(京 都 大 学)

東南アジア研究センター留学生募集要項

東南アジア研究センターは、東南アジアにかんする研究者の養成を目的として東南アジアまたは欧米に留学を希望するものを下記のとおり募集する。

記

1. 留 学 地 東南アジアまたは欧米
2. 留 学 期 間 約1か年 昭和40年4月以降
3. 採用予定人員 5名以内
4. 費 用 全額支給する
5. 応募資格 (1) 京都大学大学院学生、またはこれと同等以上の学力のある者
(2) 東南アジア諸語のうち少なくとも一つを習得せんとする者でかつ英語に堪能な者
(3) 将来現地調査に耐え得る体力と意志とを有する者
6. 応募書類 所属学部事務室で願書を受理し、必要事項を記載のうえ所属学部を通じて提出すること。
7. 締 切 期 日 昭和39年10月15日
8. 選 考 センターに設けられた選考委員会において書類選考を行ない、適任者については筆記試験と面接選考および健康診断とを行なう。

東南アジア研究センター研究担当者異動

(昭和39年6月21日から9月20日まで)

1. 学内研究担当者追加

所属	職名	氏名	研究内容
文	教授	足利 惇 氏	東南アジアにおけるインド的要素の研究
法	〃	中 田 淳 一	東南アジア諸国の比較法的研究
医	助教授	岡 田 誠 太 郎	東南アジアにおけるらいの疫学および病理学的調査研究
薬	講師	秦 清 之	東南アジアにおける薬用植物、生薬調査研究
農	教授	長谷川 浩	東南アジアの農業技術—特に稲作の技術に関する比較系統的調査
〃	〃	沢 田 敏 男	東南アジアにおける水利用の総合開発的調査研究
〃	助教授	喜 田 大 三	東南アジアにおける水田土壌の研究
木 研	教授	貴 島 恒 夫	南方材の調査および研究
〃	〃	北 尾 弘 一 郎	同 上
〃	助教授	西 本 孝 一	同 上
〃	講師	荒 木 幹 夫	同 上

2. 学外研究参加者追加

所 属	氏 名	研 究 内 容
東北薬科大学教授	高 橋 三 雄	フィリピンとタイ両国の薬用資源の化学的研究

3. 研究担当者死亡 瀬野 錦 蔵 (京大・理・教授・理博), 去る8月11日死亡

研 究 例 会 記 事 (昭和39年6月21日から9月20日まで)

年月日	講演者	題 名
7月16日	中 村 孝 志(天理大学教授)	「オランダにおける東南アジア研究の現状」
	吉 田 光 邦(京大・人文・助教授)	「マラヤ予備調査から帰って」
8月13日	南 勳(京大・農・助教授)	「東南アジアの広域水利の予備調査報告」
	渡 部 忠 世(京都府立大学・農・助教授)	「タイ国の稲作技術」
	本 岡 武(京大・農・助教授)	「タイ国農業の特質と問題点」
9月10日	中 田 惇 一(京大・法・教授)	「東南アジアにおける法学教育について」
	鎌 倉 昇(京大・経・助教授)	「東南アジアにおける工業化の諸問題について」
	N. ターリング(クィーンズランド大学教授)	「オーストラリアの東南アジア研究について」
9月18日	山 本 達 郎(東大・文・教授)	「東南アジア史研究の課題」

国 外 か ら の 訪 問 者 (昭和39年6月21日から9月20日まで)

7月10日	Prof. Thiem Komkris, Dean of the Faculty of Forestry, Kasetsart University
7月11日	Prof. Joseph L. Sutton, Chairman of the Asian Studies Program, Indiana University Dr. L. L. Meritt, Vice-President of Indiana University

8月7日 Prof. Lucian Pye, International Studies Center, Massachusetts Institute of Technology
 8月13日 Prof. Herbert Passin, Consultant of International Affairs Program, Ford Foundation
 8月15日 Prof. Alfred Bloom, Assistant Professor of Religion, Oregon State University
 9月9日 Prof. Nicholas Tarling, Department of History, University of Queensland
 9月15日 Dr. Meilink-Roelofs, Librarian, National Archives, The Hague

関係者往来 (昭和39年6月21日から9月20日まで)

		出発	帰国	行先
南	勲 (京大・農・助教授)	39. 6. 30	39. 7. 12	タイ
鎌倉	昇 (京大・経・助教授)	39. 7. 5	39. 8. 15	タイ, マレーシア, ビルマ, ベトナム
口羽	益生 (龍谷大学講師)	39. 7. 5		マレーシア
坪内	良博 (京大・文・大学院)	39. 7. 5		マレーシア
佐藤	幸治 (京大・教育・教授)	39. 8. 15	39. 8. 30	ビルマ, タイ
西田	龍雄 (京大・文・助教授)	39. 9. 1		タイ
三谷	恭之 (京大・文・大学院)	39. 9. 1		タイ
園部	逸夫 (京大・法・助教授)	39. 9. 2		タイ, マレーシア, 中国

執筆者紹介

口羽 益生	龍谷大学・文・講師
石井 米雄	外務省・南西アジア課・外務事務官
渡部 忠世	京都府立大学・農・助教授・農博
川口 桂三郎	京大・農・教授・農博
木村 康一	京大・薬・教授・薬博
刈米 達夫	国立衛生試験所長・京大名誉教授・薬博
吉田 光邦	京大・人文・助教授
西尾 雅七	京大・医・教授・医博
中村 孝志	天理大学教授
ロバート B. ジョーンズ	Cornell Univ., Dept. of Far Eastern Studies, Associate Prof., Ph. D.
相良 惟一	京大・教育・教授・法博
前田 成文	京大・文・大学院(マラヤ大学留学中)
藤吉 慈海	京大・人文・助手